

菜の花エッグや マルユーなど出展 食の魅力発見商談会



大和フーズは東スポとのコラボ品を紹介するポスターを掲示



菜の花エッグは千葉県産卵と、同社の公式アプリをPR



こまち食品工業の比内地鶏使用「秋田缶」シリーズ



マルユーは鶏卵やシイタケの各加工品を展示した

卵関係では「菜の花エッグ(千葉)」が出展。梅原正一社長らが、平成の名水百選に選ばれた「久留里の生きた水」を鶏に与えた「房総発 久留里のたまご」や、「千葉県産 海と山に育まれた卵」などを紹介した。

また、消費者が納得に楽しむことができ、卵の知識も学べるというスマホアプリ「菜の花エッグの公式アプリ」についてもPR。同アプリで同社の卵に付く抽選ラベル(QRコード)をスキャン

リッキービジネスソリ ユーション(株)や各第一地方銀行が主催する「食の魅力」発見商談会2023」が6月20日、東京都港区の都立産業貿易センター浜松町館で開かれた。

卵関係では「菜の花エッグ(千葉)」が出展。梅原正一社長らが、平成の名水百選に選ばれた「久留里の生きた水」を鶏に与えた「房総発 久留里のたまご」や、「千葉県産 海と山に育まれた卵」などを紹介した。

「玉子焼」「錦糸玉子」といった主力商品に加えて、従来から製造する「味付椎茸スライス」「五目ちらしの素」などの提案を強化。特販課の池田孝仁第一係長は「いまの卵の需給状況を受け、仕入れや販売、工場稼働率などを考えて卵以外の製造・販売にもより注力している。ただ、近

「玉子焼」「錦糸玉子」といった主力商品に加えて、従来から製造する「味付椎茸スライス」「五目ちらしの素」などの提案を強化。特販課の池田孝仁第一係長は「いまの卵の需給状況を受け、仕入れや販売、工場稼働率などを考えて卵以外の製造・販売にもより注力している。ただ、近

入れやすくなる」とは聞いていた。鶏肉関係では、大和フーズ(栃木)と東京スポーツ新聞社のコラボ品「東スポからあげ(ニンニクマシマシ醤油味/国産肩小肉使用)」、こまち食品工業(秋田)の「比内地鶏缶詰「秋田缶」シリーズの「アヒージョ、炭火焼き、トマト煮込み」などが注目を集めた。